

令和5年度
第2回
代議員会

<http://shochueiken.com/>



岐阜県小中学校英語研究部会

令和6年2月27日(火)

9:45~11:00 [予定]

※9:30よりミーティング開始

zoomによるオンライン会議

※表示名は【所属校 お名前】でお願いいたします。

第2回代議員会

令和6年2月27日（火）

*zoomによるリモート開催

時 間	内 容 ・ 会 場
9:30	<p>ミーティング開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示名は【所属校 お名前 (例) 川島中学校 永井悠介】 <p>【開始まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9:45までは、カメラOFF・マイクOFF（ミュート） <p>【開始してから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラは、可能な方はON・マイクOFF（ミュート） ・発言や議決の際は、カメラON・マイクON ・トラブルがありましたら、主務者までチャットでお知らせください。 <p>【終了後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会を行います。役員の先生方はお残りください。
9:45	<p>全体会開始 司会【主務者：永井 悠介 各務原市立川島中学校】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 部会長あいさつ（5分） 【後藤 喜朗 岐阜市立加納小学校】 2 土岐市実践発表 [東濃大会]（30分） 【岡田 海保 多治見市立陶都中学校】 発表者土岐市立泉中学校：阿部聖一 土岐市立駄知中学校：宮本真実 土岐市立土岐津小学校：吉津希代香 3 御指導（10分） 美濃教育事務所 教育支援課 渡邊 基樹 様 4 本年度の研究（10分） 【小学校：松田 洋和 多治見市立北栄小学校】 【中学校：田中 大輔 関市立下有知中学校】 5 本年度の事業内容（3分） 【石黒 崇人 各務原市立蘇原中学校】 6 予算，旅費など（2分） 【堀部 幸嗣 坂祝町立坂祝中学校】 7 来年度の活動（10分） 【永井 悠介 各務原市立川島中学校】 ・Ways No.64 の配布について 8 その他（5分） ・質疑応答
11:00	<p>全体会終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会を行います。役員の先生方はお残りください。 ・役員以外の先生方は、各自でご退出ください。

研究の報告

小学校研究部長 松田 洋和 (多治見市立北栄小学校)

■研究部長 松田 洋和 【多治見市立北栄小学校】

研究副部長 吉村 知也 【池田町立温知小学校】

G長 丹羽 宏美 【岐阜市立長良東小学校】

実践した学年・単元	担当者 (■Gリーダー)	所属
Here We Go!6 Unit6 This is my town.	■吉村 知也	池田町立温知小学校
	前田 賢人	多治見市立精華小学校
	牧野 晴菜	養老町立養老小学校
	松岡 知美	海津市立城山小学校
	山田 麻衣	郡上市立大和北小学校
	吉本 梨乃	美濃市立藍見小学校
Blue Sky elementary5 Unit5 This is my sister.	■丹羽 宏美	岐阜市立長良東小学校
	木股 輝彦	瑞浪市立明世小学校
	日下部 晴信	下呂市萩原小学校
	杉本 美紗	羽島市立竹鼻小学校
	濱田 歩	可児市立東明小学校
	林 孝行	池田町立温知小学校
New Horizon elementary 5 Unit7 Welcome to Japan.	■松田 洋和	多治見市立北栄小学校
	江川 緑	各務原市立川島小学校
	金田 ルツ紀	可児市立広見小学校
	佐藤 悠莉	中津川市立付知北小学校
	祖父江 博貴	北方町立南学園
	奈木 洋介	御嵩町立伏見小学校
	西田 杏奈	大垣市立中川小学校
	三輪 りさ	岐阜市立芥見小学校
度會 志帆	瑞浪市立陶小学校	

【令和5年度の研究の意図と方向性】

これまで、小学校部会では、岐阜県小中学校英語研究部会の研究主題を受けて、「仲間と話したくなるような魅力的な言語活動」「どの児童も楽しんで終末の言語活動に取り組める指導過程と評価の在り方」を大切にしたい提案を作成してきました。昨年度は、外国語科を指導される先生方の悩みや困り感に寄り添い、単元指導計画やパフォーマンステストに加え、新たに「小学校英語 単元作成の流れ」や「目的に応じた活動例&指導例集」を作成しました。

研究内容（1） 単元指導計画作成の過程を可視化した議事録の作成

今年度は、令和6年度に教科書が改訂されることもあり、新たに抽出単元の指導計画を作ることも、指導計画が出来上がるまでの過程を可視化することで、より汎用性のある提案にしたいと考えました。

研究内容（2） ICT 機器の効果的な活用方法事例案集の作成

ICT 機器の効果的な活用方法に関わって、ねらいを達成するために、どのように活用できるのか、どのような効果があるのか、何に気を付けなければいけないのかを整理したものを提案したいと考えました。そこで、今年度の小学校部会は下記の四つ提案になっています。

- ① R4 年度の単元指導計画（Here We Go!6）の再検討グループ
- ② R4 年度の単元指導計画（Blue Sky elementary5）の再検討グループ
- ③ 抽出単元（NEW HORIZON elementary5）の指導計画作成
- ④ 外国語科の授業における ICT 機器活用事例集

単元指導計画に加え、それらが出来上がるまでに、どのような話し合いが行われたのかを議事録としてまとめてあります。グループ①②では、令和4年度の Ways に掲載されている単元指導計画を元に、さらにより単元指導計画にするための見直しを行いました。単元を見直す場合、「どこから」「何を」「どのように」見直していくとよいのかが順を追って議事録としてまとめてあります。グループ③では、単元を1から作成する際に、どのような思考過程で出来上がっていくのか、そして、その過程において出てくる困り感に対して、どう考えていくとよいのかが議事録としてまとめてあります。

今年度の成果（○）と来年度に向けて（●）

○議事録をまとめていく中で、指導方法や指導過程の細かな捉えに違いがあることが明らかになりました。「自分の感覚」ではなく、「正しい考え方」の基で指導する大切さを、議事録でまとめることができました。

●来年度から、新しい教科書になるため、学習到達目標を見直したり、パフォーマンステスト等の評価内容を見直したりすることで、指導と評価の一体化をめざしていく。

研究の報告

Improve

中学校研究部長 田中 大輔（関市立下有知中学校）

令和5年度は、Communicative Activity 部会とテスト作成部会では、以下のことに取り組んだ。

[Communicative Activity 部会]

NEW HORIZON	NEW CROWN
<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法を明記した『指導と評価の計画』作成 ・各学年の抽出単元における展開案の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生 Project の『指導と評価の計画』作成 ・3年生全 Lesson の『指導と評価の計画』作成

[テスト作成部会]

NEW HORIZON
<ul style="list-style-type: none"> ・学習到達目標と各学年の各単元におけるつながりを明確にしたテスト問題の作成 ・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」における『知識・技能』と『思考・判断・表現』の問題作成

I 令和5年度の研究内容

[Communicative Activity 部会]

(1) 評価方法を明記した『指導と評価の計画』作成について

『指導と評価の計画』において、評価方法を記載した。評価方法は、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 p51 を基に、記述するようにした。

NEW CROWN English Series 3 Lesson5 I have a Dream. を例に挙げる。

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
1			記録に残す評価は行わない。た の状況を確認し、即して生徒の活 だし、ねらいに即して生徒の活 かの状況を確実に見届けて指導の活 分させている。毎時間必ず行うよう 意を促す。		
2					
3	記録に残す評価を行わない時間については、評価方法は記載していない。				
・ ・ ・					
8 (整理し、 表現する時間)	<p>■よりよい学級にするために自分は何をしようとよいのか書きまとめる活動を通して、自分の考えに対する根拠を明確にし、接続詞や副詞を用いることが有効であると気づき、まとまりのある英文を書くことができる。</p> <p>①Small Talk “Do you practice to sing hard?” ②p77 Stage3 について自分の考えを伝え合う。 ③抽出生徒の考えを聞く。 ④再構築を行う。 ⑤自分の考えを書きまとめる。</p> <p>記録に残す評価を行う時間の際に、評価方法を、備考欄に記している。具体的な評価方法における記載は、『指導と評価の計画』の下に記載している。</p>	<p>◆③において、抽出生徒の発話内容を学習支援ツールのテキストに記入し、生徒へ配付する。④の参考となるようにする。</p> <p>・②において、ポイントを確認する。 (1) 教科書の文を引用する。 (2) 自分は日常生活で何をしていたのか伝える。</p> <p>・⑤において、ポイントを確認する。 接続詞を活用して書きまとめる。 (2) 副詞を用いて、内容を整理して書きまとめる。</p> <p>○評価方法 (i)</p>		○	○

<p>9 (整理し、 表現する時間)</p>	<p>■シンガポール交流授業でお世話になったALTの先生方に合唱祭への招待状を書くためにどんな情報を書こうと考えているかインタビューし合う活動を通して、相手の発話内容に対して理由や自分の考えを述べることで自分が伝えたいことが具体的になることを理解し、招待状の内容について書きまとめることができる。</p> <p>①Small Talk “What do you want to tell to ALT?”</p> <p>②p79の音読を行い、インタビュー方法について理解する。</p> <p>③ “What are you going to write about invitation?”というトピックでインタビュー活動を行う。</p> <p>④中間交流・再構築を行う。</p> <p>⑤自分が招待状に書こうと考えている内容について書きまとめる。</p>	<p>◆②において、デジタル教科書を活用して、Listeningや音読練習を行う。</p> <p>・④において、合唱祭の日時といった連絡事項のみではなく、どんな思いで臨むのか、練習にどのように取り組むのか等自分の考えを伝えている生徒を抽出する。</p> <p>・⑤において、ポイントを確認する。</p> <p>(1) 接続詞を活用して書きまとめる。</p> <p>(2) 副詞を用いて、内容を整理して書きまとめる。</p> <p>○評価方法 (ii)</p>			
<p>10 (再構築し表現を改善する時間)</p>	<p>■シンガポール交流授業でお世話になったALTの先生方に合唱祭への招待状を書く活動を通して、自分の思いを読み手に分かりやすく伝えるために理由などについて接続詞や副詞を用いることが有効であると理解し、まとまりのある英文を書くことができる。</p> <p>①前時に書きまとめた内容を交流する。</p> <p>②招待状を書く。</p> <p>③中間交流・再構築を行う。</p> <p>④招待状を改めて書く。</p>	<p>◆①・③において、学習支援ツールで生徒の英文を共有し、生徒一人一人が仲間の招待状を参考にしたり、交流したりできるようにする。</p> <p>・⑤において、ポイントを確認する。</p> <p>(1) 接続詞を活用して書きまとめる。</p> <p>(2) 副詞を用いて、内容を整理して書きまとめる。</p> <p>○評価方法 (iii)</p>			
<p>後日</p>	<p>ペーパーテスト</p>				

■…ねらい ◆…ICTの活用 「・」…指導上の留意点 ○…評価方法

<評価方法>

- (i) ワークシートの記述内容を「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に照らして、自分が伝えたい内容を接続詞や副詞を活用して整理し、書いている、書こうとしているのかを評価する。
- (ii) 教師は1回につき、2ペアを観察し、評価規準に照らして評価する。十分な発話がない生徒がいた場合には、新しいペアにおけるやり取りを観察する。
- (iii) 招待状の記述内容を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価基準に照らして、関係代名詞（目的格）や接触節を使用しなくてはならない文脈において、正しく使用することができているか、伝えたい内容について副詞や接続詞を用いて整理し、まとまりのある英文を書いている、書こうとしているのかを評価する。

『指導と評価の計画』の備考欄にある「○評価方法 (i) ~ (iii)」について、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 p51 を基に、記述している。

令和5年度は、このように評価方法を記載した『指導と評価の計画』を作成し、指導と評価の一体化に向けた研究を行った。

(2) 各学年の抽出単元における展開案の作成

本時のねらい ローザ・パークスさんに起きた出来事に関するガイドの説明を読み取る活動を通して、実際にあった人種差別に関する内容について理解し、自分の考えを書きまとめることができる。

「展開案」は、詳細を記しているため、「指導と評価の計画」と「展開案」における指導過程の番号にズレが生じる。

選	◆…ICTの活用 「・」…指導上の留意点
<p>① Small Talk “Do you keep the rule of information moral of Shimouchi J.H.S” ・ペアで対話した後に全体交流を行う。 ② p72 デジタル教科書を用いて音声と視覚で本文内容理解する。 ＜内容理解の視点＞ Why was Ms. Parks arrested? ・どの教科書本文を根拠とした考えなのかを交流・確認する。</p> <p>What do you think about this problem?</p>	<p>Yes, I do. I almost keep the rule, but sometimes I use my phone until ten. I should be careful.</p> <p>◆②において、教科書の Text Words の QR コードを活用し、本文内容の動画を視聴する。 ＜根拠となる英文＞ ・ She was sitting near the ‘Whites Only’ section. ・ “Give up your seat, or I’ll call the police.” ・ The police came and arrested her.</p>
<p>③ 本文音読・単語の練習を行う。 ④ ペア交流 “If you were Ms. Parks, would you give up your seat?” というトピックで対話活動を行う。 No, I wouldn’t. I would refuse because I didn’t sit ‘Whites Only’ section. And I think I should not be arrested. Discrimination makes us unhappy. ⑤ 抽出生徒の英文を聞き、発話内容について理解する。 No, I wouldn’t. I would refuse because I didn’t sit ‘Whites Only’ section. And I think I should not be arrested. The driver said “Give up your seat, or I’ll call the police.” It’s not right. Discrimination makes us unhappy. We should make the better world. ⑥ 再構築 ・抽出生徒の英文からポイントを確認し、再構築をする。</p>	<p>・④において、トピックに対して、②の対話活動で使用した英文を活用して対話活動を行うよう指導する。 ・⑤において、内容理解の視点で読み取った英文や、自分の考えについて、接続詞や副詞を用いて伝えて伝える生徒を抽出する。 ◆⑤において、抽出生徒の発話内容を学習支援ツールのテキストに記入し、生徒へ配付することで再構築の足場とできるようにする。 ・⑥において以下の視点で再構築するよう指導する。 ＜再構築におけるポイント＞ (i) 教科書の文を引用しているか。 (ii) 自分の日常生活で、自分は何をしているのか。 ・再構築の際に、2つのポイントを提示する。そして、生徒に自分の英文にも足りていないポイントがあれば補うよう指導し、⑦で英文を書きまとめられるようにする。 ◆英文を撮影し学習支援ツールで提出するよう指導する。 ・⑥で行ったポイントがおさええてあることがまとまりのある英文であることを指導する。</p>
<p>⑦ 自分の考えを書きまとめる。 I think this problem Ms. Parks had will never happen again. If I were her, I would refuse. Her action was right, but she was arrested. Discrimination makes us unhappy. In my daily life, I’ll promise that I greet to everyone, anytime to realize the world that has no discrimination.</p>	<p>＜評価規準＞ 人種差別に関する内容について理解し、自分の考えについて、教科書を引用するなどして、まとまりのある英文を書いている。(思考・判断・表現)</p>

※記録に残す評価を行う時間の場合は、この枠に、評価方法について、「指導と評価の計画」と同一表記で記述するようになっている。

〔テスト作成部会〕

(1) 学習到達目標と各学年の各単元におけるつながりを明確にしたテスト問題の作成について

令和5年度は、「聞くこと」「読むこと」における学習到達目標を設定し、学習到達目標とのつながりを意識したテスト問題作成を行った。

3年生 聞くこと	2年生 聞くこと	1年生 聞くこと
日常的な話題や社会的な話題について、自然な口調で話されているアナウンスやディスカッションなどの情報量の多い英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話されているスピーチなどの内容に一貫性のある英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	関心のある事柄や日常的な話題について、はっきりと話されているボイスメッセージや商品の説明などの短い英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。
3年生 話すこと〔発表〕	2年生 話すこと〔発表〕	1年生 話すこと〔発表〕
日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考えなどに基づいた自分の考えたことや感じたこと、その理由などを、経験したことの例示などととも、聞き手の理解に応じて繰り返したり、強調したりしながら話すことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の経験や他教科などで学習したことに基づいた事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、その理由なども踏まえて、まとまりのある内容になるように構成を工夫しながら話すことができる。	関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、その場で考えを整理して、重要な情報に強勢を置いたり、つなぎ言葉や言い直し、身振り手振りなどを用いたりして、即興で話すことができる。
3年生 話すこと〔やり取り〕	2年生 話すこと〔やり取り〕	1年生 話すこと〔やり取り〕
日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考えなどに基づいた自分の意見・主張とその理由などを、対話がより継続・発展するように、聞き手の理解の状況を確認しながら、相手からの質問に対して適切に応答したり、自ら質問をし返したりするなどして、工夫しながら伝え合うことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の経験などに基づいた考えや気持ちとその理由、具体例や事実など、まとまった内容を整理して伝えた上で、伝えた内容に対する質問に回答しながら、対話を継続・発展させて伝え合うことができる。	関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、相手の発話に応じて、関連した質問や意見を述べたりするなどして、対話を継続させながら、即興で伝え合うことができる。
3年生 読むこと	2年生 読むこと	1年生 読むこと
日常的な話題や社会的な話題について、世界情勢や歴史上の人物などについて書かれている情報量の多いまとまりのある英文を読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたスピーチや説明文、物語文などを挿絵やグラフなどを参考にして読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	関心のある事柄や日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた学校生活や物語文などの短い英文を読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。
3年生 書くこと	2年生 書くこと	1年生 書くこと
日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことについて、話題に対しての賛否や自分の意見を述べたり、その理由や根拠を明確に述べたりしながら、内容を整理して、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文と文の順序や内容などのつながりに注意したり、文章構成の特徴を意識したりしながら、まとまりのある文章を書くことができる。	関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成したり、読み手に伝えたい内容を整理したりしながら、まとまりのある文章を書くことができる。

テスト問題のページには、学習到達目標を記載するようにしている。

(2) 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」における『知識・技能』と『思考・判断・表現』の問題作成について

「聞くこと」『知識・技能』（例）

N/H 1年生2学期 期末テスト

【作成者：大垣市立星和中学校 後藤 健一〔問題1〕】

＜問題作成時における考え方＞

〔聞くことにおける知識・技能問題の作成について〕

ターゲットとなる文法を使った文の聞き取りが主になるように聞き取る問題を作成します。目的・場面・状況の設定は必ずしも必要ではありません。

学習到達目標を記載し、テスト問題と学習到達目標のつながりが分かるようにしている。

＜学習到達目標＞

関心のある事柄や日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた学校生活や物語文などの短い文章を読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。

〔問題作成の意図〕

〔知識〕 which や whose などの疑問詞で始まる疑問文の意味や構造を理解している。

〔技能〕 疑問詞で始まる疑問文の意味や構造の理解を基に、日常的な話題の対話を聞き取る技能を身に付けている。

質問文に使われる疑問詞から判断して、正しい応答文が選択できるか判断する問題で、知識・技能を測る。

問題作成の意図を記載することで、テスト問題作成時に、参考にできるようにしている。

〔問題1〕

これから放送する英語の対話を聞いて、質問に対する答えとして最も適しているものを1～4の中から1つ選びなさい。

(1) (友達同士の会話で)

1 I got it last April. 2 I go to school by bicycle. 3 The black one is. 4 I like your bicycle.

＜スクリプト＞

(1) Man: My bicycle is over there.

Woman: I see two bicycles. Which one is yours?

＜解答＞ (1) 3

テスト問題については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の「知識・技能」及び「思考・判断・表現」の問題について提案している。

「知識・技能」と「思考・判断・表現」の問題について、次の表に記したような考えで作成した。

「知識・技能」の問題について

主としてターゲットとなる英文を聞き取ったり読み取ったりすることを意図した問題を作成する。必ずしも目的・場面・状況の設定は必要ではない。

書くことについては、表現する内容が規定されている問題を作成する。

「思考・判断・表現」の問題について

必要な情報、概要、要点を捉えられるかどうか評価する問題を作成する。単元等で扱った言語材料を必ずしも使用する必要はない。「目的・場面・状況」を提示する。

<聞き取ること（捉えること）及び設定し得る状況>

必要な情報	アナウンス，ラジオやテレビの放送等
概要	授業，講演，アナウンス，動画，対話，電話の会話等
要点	ボイスメモ，スピーチ，ディスカッション，ディベート等

<読み取ること（捉えること）及び設定し得る状況>

必要な情報	広告，パンフレット，予定表，手紙，電子メール，メモ，新聞や雑誌の情報欄，ウェブサイト，掲示，書籍，取扱説明書等
概要	日記，SNS，ニュース原稿，対話を記録したもの，時系列で書かれた短い説明，意見文，エッセイ，物語等
要点	スピーチ原稿，ディベート原稿，レポート，SNS，社会的な話題に対する説明文，意見文，手紙，電子メール等

2 本年度の研究における成果と課題

[Communicative Activity 部会]

○評価方法を記載することにより，指導と評価の一体化を目指した「指導と評価の計画」が作成できた。

○展開案を作成することによって，単位時間における，指導や評価の詳細を記すことができた。

[テスト作成部会]

○新たに「聞くこと」「読むこと」の学習到達目標を作成することによって，学習到達目標とのつながりを意識したテスト問題を作成することができた。

○「思考・判断・表現」の問題において，昨年度とは違う題材で問題を作成することにより，問題のバリエーションを増やすことができた。

[Communicative Activity 部会]

●「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準における記載について，岐阜県小中英研として提案することで，より指導と評価の一体化を目指した研究を行う。

[テスト作成部会]

●「書くこと」における評価規準のルーブリックを作成し，より実用性のある提案を行う。

3 令和6年度の方向について

[Communicative Activity 部会]

NEW HORIZON	NEW CROWN
・抽出單元における「指導と評価の計画」及び「展開案」の作成	・3年生全てのProjectにおける『指導と評価の計画』の作成
・「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準における提案 ※R7年度から教科書の内容が変更されるため，汎用性のある提案を行う。	

[テスト作成部会]

NEW HORIZON	NEW CROWN
・3学期期末テストの作成	・1学期期末テストの作成

事業部活動報告

文責 事業部長 石黒 崇人

1. 令和5年度活動方針

◎岐阜県小中学校英語研究部会事業部の活動を創造的・発展的に推進する

1. 令和5年度の岐阜県中学校英語弁論大会及び中学校英語スピーチコンテスト(地区大会)が円滑に進行できるよう企画・運営していく。
2. 教科書準拠のワークブックを現場の声や新学習指導要領の内容を踏まえ、岐阜県版として特色あるものにしていく。
3. 各郡市の代議員との連携を深め、事業部の活動へ生かしていく。

2. 高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会(中央大会参加対象者)の報告

地区	学校名	氏名	高円宮杯結果
岐阜	富田学園岐阜東中学校	尾関 元一	予選通過ならず
飛騨	高山市立東山中学校	山崎 麻央	予選通過ならず
西濃	大垣市立南中学校	高井 創羽	予選通過ならず
岐阜	富田学園岐阜東中学校	川口 真央	※特別枠として、中央大会にて、他の出場者のスピーチを聞いた。

3. 第43回岐阜県中学校英語弁論大会を振り返って

(1) 地区大会の参加状況

地区名	岐阜	西濃	美濃	可茂	東濃	飛騨	合計
参加人数	89	59	44	41	76	35	344
参加校	37	24	18	18	32	20	149
県大会出場者	13	9	7	5	11	5	50

(2) 県大会当日の主な日程【令和5年9月23日(土) 岐阜県総合教育センター】

	時間(目安)	セミファイナル(午前)・ファイナル(午後)の流れ
午 前 の 部	8:30~8:50	○実行委員及び審査員集合(小中英研関係者, 県教育委員会, 読売新聞, ALT)
	9:00~9:20	○実行委員打合せ / 大会を始めるにあたり ・部会長あいさつ ・大会長あいさつ(審査員の紹介) ・読売新聞あいさつ(岐阜支局長 井上 晋治 様) ・審査の流れについて(事業部長)
	9:30~10:00	○生徒受付開始
	10:00~10:15	○開会式
	10:30~11:45	○セミファイナル開始(進行: 常任委員) ・グループA~Eに分かれてセミファイナルを行う。 ○セミファイナル審査 / 昼食
午 後 の 部	13:10~14:20	○ファイナル(審査: 県教育委員会, 教頭先生, ALT) ・最優秀賞 / 優秀賞
	15:00~15:30	○表彰式・閉会式
	16:00~	○大会を終えて(司会: 事業副部長) ・部会長より ・諸連絡(事業部長)

(3) 入賞者氏名

賞	地区	学校名	氏名	スピーチタイトル
最優秀賞	岐阜	富田学園岐阜東中学校	尾関 元一	Fast and Furious Family, Solving the World's Problems
	岐阜	富田学園岐阜東中学校	川口 真央	My Future as a Doctor with AI
	飛騨	高山市立東山中学校	山崎 麻央	How to Save People from Severe Periodontal Disease
	西濃	大垣市立南中学校	高井 創羽	The journey towards empowerment
優秀賞	岐阜	岐阜市立精華中学校	市川 こはる	Seeing Is Believing
	岐阜	羽島市立羽島中学校	野澤 安美	Real Laughter
	東濃	多治見市立陶都中学校	川喜田 毬花	Unmasked
	東濃	多治見市立多治見中学校	森 瑠衣	Heaven's call
	東濃	恵那市立明智中学校	伊藤 百音	“THANK YOU”
	飛騨	飛騨市立古川中学校	垣内 優里佳	The day I hated my mother. And the day I loved her.

(4) 参加生徒の感想

今年は3度目の挑戦で初めて県大会に出場できて嬉しかったです。県大会では、とても緊張しましたが、自分がこれまで頑張ってきたことを信じて堂々と思いを伝えることができてよかったです。ほかの参加者の方もみんなそれぞれの思いが詰まったスピーチをしていて、聞きごたえがありました。そして、もっと英語を追究したいと思え、本当にいい経験になりました。

(岐阜市立精華中学校 市川 こはる さん)

難しいことからすぐに逃げてしまう自分から少しでも変わろうと、この大会に挑戦しました。作文を書くところから苦勞ばかりで先生や友達にもたくさん助けてもらったので、今日この場で自分らしく話すことができて本当によかったです。オーディションの時から、2回出場経験のある友達にお礼を言おうと思います。本日は、ありがとうございました。

(飛騨市立古川中学校 垣内 優里佳 さん)

昨年度も出場しましたが、県大会の予選で落選してしまったので、なんとか次は突破したいという思いがありました。本当に達成することができて、嘘のように嬉しいです。今までたくさんの先生方にサポートしていただいて、ここまで来ることができたのかなと思います。本当に出場してよかったです。本日は、この大会を開催していただいて本当にありがとうございました。

(岐阜市立東長良中学校 中里 百佑 さん)

4. 令和6年度に向けて

今回、岐阜県教育委員会より藤田先生、部会長後藤校長、大会長平工校長より御指導をいただき、参集型の大会を開催することができました。ありがとうございました。

今年度は、昨年度の反省を生かし、これまでと同じように申込書等をデジタル化し、スムーズかつ簡易的なものにしました。これにより、運営側と参加側とが負担なく進めることができました。参集型の開催ということで、課題点や確認事項などがありましたので、事業部で検討していき、来年度につなげていきたいと考えています。各地区大会及び県大会でお手伝いいただいた先生方、ありがとうございました。新たな開催方法に柔軟に対応してくださったおかげで、無事に大会を終えることができました。今後に向けても、誰にとっても分かりやすいスピーチコンテストになるようにしていきたいと思っています。

5. 令和6年度スピーチコンテスト地区大会及び県大会について【開催予定日】※変更する可能性あり

地区・県	日時	会場
岐阜	8月20日(火)	岐阜県総合教育センター、OKB ふれあい会館
西濃	8月22日(木)	わいわいプラザ垂井
美濃	8月20日(火)	関市わかさプラザ
可茂	8月19日(月)	広見地区センター
東濃	8月20日(火)	瑞浪市総合文化センター
飛騨	8月20日(火)	高山市教育研究所、一之宮公民館
県大会	9月28日(土)	各務原市産業文化センターまたは関市文化会館

6. 令和6年度の事業部の主な活動内容(予定)

- ・中学生英語スピーチコンテスト地区大会及び県大会の準備・運営
- ・岐阜県版ワークブックの採用状況の確認・採用の依頼

令和5年度 収支決算書

岐阜県小中学校教育研究会 小中学校英語研究部会

主務者 永井 悠介

監事 白橋 茂樹 橋本 文洋

会計 堀部 幸嗣

◆収入の部

科目	金額	内訳
会費	605,120	¥620×976名
県費補助金	100,000	助成金
雑収入	2	利息
計	705,122	

◆支出の部

科目	金額	内訳	
研究大会	報償金		
	会議費		
	旅費		
	消耗品費		
	印刷製本費	100,000	研究紀要製本費
	通信費		
	使用料及賃借料		
研究調査	報償金		
	会議費		
	旅費		
	消耗品費	61,732	インク代、用紙代
	通信費		
	使用料及賃借料	22,990	会場使用料
	分担金	10,000	全英連分担金
	図書購入費		
成果刊行	消耗品費		
	印刷製本費	484,000	Ways of Teaching English
	通信費	26,400	Ways of Teaching English配送料
予備費			
計	705,122		

◆収支の部

収入	支出	収支
705,122	705,122	0

◆収入の部

科目	金額	内 訳
会 費	605,120	¥620×976名
前年度繰越金	0	
計	605,120	

◆支出の部

科目	金額	内 訳	
研究大会	報償金		
	会議費		
	旅費		
	消耗品費		
	印刷製本費		
	通信費		
	使用料及賃借料		
研究調査	報償金		
	会議費		
	旅費		
	消耗品費	73,120	インク代、用紙代
	通信費	2,000	
	使用料及賃借料	40,000	会場使用料
	分担金	10,000	全英連分担金
	図書購入費		
成果刊行	消耗品費		
	印刷製本費	450,000	Ways of Teaching English
	通信費	30,000	
予備費			
計	605,120		

◆収支の部

収入	支出	収支
605,120	605,120	0

研究部・事業部の成果と来年度の活動計画案

主務者:永井 悠介(各務原市立川島中学校)

【令和5年度の研究テーマ】

「できた・分かった」を実感しながら、
コミュニケーションに挑み続ける児童・生徒を育てる指導を求めて
～五領域における学習到達目標を明らかにし、
言語活動の中でその到達を実感させる指導・評価の一体化～

1 はじめに

児童・生徒も先生も顔晴れる小中英研^{がんば}

- ◎児童・生徒の可能性を引き出し、認め、伸ばす指導の実現
- 「英語が好きだ。」や「英語が楽しい。」と感ずることが出来る児童・生徒の育成
- 「参加してよかった。」と先生が思うことができる会の開催

今年度、上記内容を「主務者の願い」として、常任委員会・代議員会・研究協議委員会などで想いを共有しながら、県小中英研を運営させていただいた。先生方が「小中英研に参加してよかった。」と感ずることで、児童・生徒が楽しみながら英語を学び、「英語が好きだ。」と思える授業につながり、児童・生徒の顔晴る姿が生み出されると考えた。そして、この営みは、外国語活動や外国語科を通して、新しい時代を生きる児童・生徒の可能性を引き出し、認め、伸ばすことになると考える。

Ways 作成やスピーチコンテストの開催、3年に一度の県大会(東濃大会)の運営や授業公開、各郡市での研究授業など今年度、本部会を支えてくださいました関係者の皆様方に、この場をお借りしまして、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

研究部と事業部の活動について、以下(詳細については、各部長の報告を参照)に簡潔に記す。

2 研究部の活動

小学校部会

外国語科を指導される先生方の悩みや困り感に寄り添い、「単元指導計画作成の議事録」、「指導と評価の計画」と「ICT活用事例集」を作成した。

令和6年度に教科書が改訂されることもあり、過去に作成した単元指導計画を活用し、指導計画が出来上がるまでの過程を可視化した議事録を作成した。また、ICT機器の効果的な活用方法に関わって、ねらいを達成するために、どのように活用できるのか、どのような効果があるのか、何に気を付けなければいけないのかを整理した活用事例集を作成した。

中学校部会

[Communicative Activity 部会]

NEW HORIZON	NEW CROWN
・評価方法を明記した『指導と評価の計画』作成 ・各学年の抽出单元における展開案の作成	・2年生 Project の『指導と評価の計画』作成 ・3年生全 Lesson の『指導と評価の計画』作成

評価方法を明確に記載した『指導と評価の計画』の作成を行った。NEW HORIZON においては、指導と評価の一体化の具体を示すために、各学年1つ单元を抽出し、3つの单元において展開案を作成した。また、NEW CROWN においては、令和3年から今年度まで (Ways No.62~64) で、3学年分の Lesson と Project の『指導と評価の計画』(3年生 Project を除く) を作成することができた。

[テスト作成部会]

NEW HORIZON
・学習到達目標と各学年の各单元におけるつながりを明確にしたテスト問題の作成 ・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」における『知識・技能』と『思考・判断・表現』の問題作成

新たに「聞くこと」「読むこと」の学習到達目標を作成したことにより、学習到達目標とのつながりを意識したテスト問題を提案することができた。また、「思考・判断・表現」の問題において、昨年度とは違う題材で問題を作成することにより、問題のバリエーションを増やして提案した。

3 事業部の活動

今年度も昨年度同様、参集型の大会を開催することができた。昨年度までの反省を生かし、参加申込等をデジタル化し、スムーズかつ簡易的なものにした。そうすることで、参加側と運営側の両者が大きな負担なく進めることができた。コロナ禍前に参集型で開催していた頃の規模(参加人数)に戻りつつあるということやコロナ禍での経験を生かしてよりよい大会にしていこうとするが故の課題点や確認事項などがあった。今後も事業部で検討し、来年度につなげていきたい。スピーチコンテストは、これまでもこれからも、生徒の可能性を引き出し、認め、伸ばす具現の場であることを念頭に置き、より多くの希望者が参加できるよう運営方法について、検討を重ねていきたい。

県内版ワークブックについては、令和7年度に中学校の教科書が改訂されるため、令和6年度に新たな変更や改善はない。その代わりに、今年度、ワークブックを編集・発行している出版社と令和4年度の Ways No.63 の内容を共有させていただいた。特に、テスト作成部会が大切にしている「テスト作成における考え方」を基にして、ワークブックを編集してもらうように依頼した。従って、令和7年度版ワークブックの大きな改訂に備え、生徒が使いやすい、先生方が内容に納得できるワークブックになるように準備を進めていく。

4 来年度(令和6年度)以降の見通し~R6 は大きな節目となるのでは?~

【「大きな節目となるのでは?」と考える理由】

・「第4期教育振興基本計画」(R5~R9) [文部科学省]

→「第4次岐阜県教育振興基本計画」(2024年度~2028年度) [岐阜県]

- ・「令和5年度全国学力・学習状況調査《英語》」実施の翌年
- ・4年に1度の教科書改訂(小学校:R6～・中学校:R7～)
- ・R9東海北陸公立学校英語教育研究会岐阜大会～運営・実践発表～
- ・3年に1度の県大会:R5 東濃大会実施→R8 岐阜大会開催
- ・第44回岐阜県中学校英語弁論大会(スピーチコンテスト県大会)の実施会場変更
→読売新聞社様との打合せ(運営面)

(例) R6年度: Ways No.62～64の「指導と評価の計画」の検証と次年度に向けて、研究の核となり得る要素の部会で研究を進める。

- ・小中連携部会
- ・生成 AI 活用方法部会
- ・評価の具体部会
- ・領域統合の指導の在り方部会

◎R6～R8の3年間を見通した運営と研究にしていけるべきではないか

5 来年度(令和6年度)の活動計画(案)

4月20日(土) 第1回常任委員会及び第1回G長会

5月15日(水) 第1回代議員会(リモート開催)

5月18日(土) 第1回研究協議員会

6月20日(木) 第2回研究協議員会

8月 各地区でのスピーチコンテスト ※R6県統一研究日(8/19・20)

20日(火) 岐阜地区 22日(木) 西濃地区 20日(火) 美濃地区
19日(月) 可茂地区 20日(火) 東濃地区 20日(火) 飛騨地区

9月 7日(土) 英語弁論大会準備委員会(リモート開催)

9月29日(日) 第44回岐阜県中学校英語弁論大会 予備日:10月5日(土)

※会場は、中部学院大学です。

10月22日(火) 第3回研究協議員会

12月 7日(土) 第4回研究協議員会

1月 6日(月) 第2回G長会

2月25日(火) 第2回代議員会(リモート開催)

※ 日程は、現段階での案ですので、来年度に向けて変更の可能性がります。

※ 4月に常任委員会を開き、令和6年度の研究テーマと研究内容、事業部の活動について、正式に決定します。

6 代議員の皆様へお願い

- ・代議員の皆様が学校へ届いた Ways は、資料中にあります配付数一覧を参考に各学校へお配りください。
- ・Ways は会員がいない学校にも1冊配布いたします。
- ・Ways に過不足があった場合は各務原市立川島中学校(0586-89-2700)永井までご連絡ください。
- ・新年度になりましたら、みなさんの元へ主務者より「新年度の代議員」と「研究協議委員」を報告いただくメールが届きます。今年度の代議員である皆様が、期日までに報告いただくようお願いします。移動などで学校が変わられる方につきましては、同じ学校内でどなたかに引継ぎ、必ず報告が主務者のところまで届くようお願いいたします。

来年度以降も「児童と生徒、そして先生方が顔晴ることができる」ための小中英研であること願います。一年間お疲れさまでした。今後とも引き続き、よろしく願います。

令和5年度 学校別会員数一覧①(会員がいない学校にも1冊ずつWaysが届くようにしています)

学 校 名	会 員 数	学 校 名	会 員 数	学 校 名	会 員 数	学 校 名	会 員 数
岐阜小	4	岐阜清流中	5	八木山小	2	東小	1
明郷小	3	岐阜中央中	1	陵南小	3	西小	1
徹明さくら小	2	本荘中	2	各務小	1	北小	1
白山小	1	梅林中	3	蘇原第一小	3	笠松小	1
梅林小	3	加納中	4	蘇原第二小	5	松枝小	1
華陽小	2	長森中	5	中央小	1	下羽栗小	2
本荘小	3	長良中	4	那加中	5	岐南中	5
日野小	1	島中	4	桜丘中	3	笠松中	5
長良小	2	岩野田中	3	稲羽中	2	南学園	3
島小	4	精華中	3	川島中	4	北学園	7
三里小	6	藍川中	2	鶺沼中	5	興文小	2
鷺山小	1	三輪中	2	緑陽中	3	東小	5
加納小	3	岐北中	3	蘇原中	7	西小	4
加納西小	1	厚見中	2	中央中	7	南小	2
則武小	3	青山中	4	高富小	4	北小	2
長森南小	1	陽南中	4	富岡小	1	日新小	1
長森北小	3	藍川東中	2	梅原小	1	安井小	1
常磐小	2	岐阜西中	4	大桑小	1	宇留生小	3
木田小	1	藍川北中	2	桜尾小	1	静里小	2
岩野田小	1	長森南中	2	伊自良南小	1	綾里小	1
黒野小	1	東長良中	4	伊自良北小	1	江東小	4
方県小	1	境川中	6	美山小	1	川並小	1
茜部小	1	草潤中	2	いわ桜小	1	中川小	9
鶺沼小	4	足近小	1	高富中	4	小野小	9
七郷小	1	小熊小	1	伊自良中	2	荒崎小	2
西郷小	1	正木小	5	美山中	1	赤坂小	2
市橋小	1	竹鼻小	5	穂積小	2	青墓小	2
岩小	1	中央小	5	本田小	1	牧田小	1
鏡島小	1	福寿小	1	牛牧小	3	一之瀬小	1
厚見小	2	堀津小	1	生津小	3	多良小	1
長良西小	2	中島小	1	南小	2	時小	1
早田小	3	羽島中	5	中	1	墨俣小	1
且格小	1	竹鼻中	5	西小	1	興文中	3
芥見小	5	中央中	3	穂積中	8	東中	7
合渡小	2	中島中	2	穂積北中	4	西中	3
三輪南小	2	桑原学園	2	巢南中	4	南中	3
三輪北小	2	那加第一小	2	本巢小	2	北中	3
網代小	1	那加第二小	1	外山小	1	江並中	3
城西小	1	那加第三小	1	弾正小	2	赤坂中	3
藍川小	1	尾崎小	1	真桑小	1	西部中	7
長良東小	3	稲羽西小	1	席田小	2	星和中	5
長森西小	2	稲羽東小	1	土貴野小	1	上石津中	2
芥見東小	1	川島小	4	一色小	1		
岩野田北小	1	鶺沼第一小	2	本巢中	2		
長森東小	3	鶺沼第二小	5	真正中	5		
柳津小	2	鶺沼第三小	2	系貫中	3		
岐阜大学教育学部 附属小中学校	7	緑苑小	2	根尾学園	2		
						会員がいない学校→	

令和6年2月27日

岐阜県各中学校 英語科主任 先生

岐阜県英語研究会

岐阜県版「英語教材」ご採用のお願い

平素は本研究会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本研究会では、2024年度用英語教材として「岐阜県版 ニュー・アプローチ」「岐阜県版 絶対評価プリント」「岐阜県版 ニュー・ペンマンシップ」「岐阜県版 ニュー・スタディノート」を発行いたします。これらは授業で使用している教科書を参考にしつつ、岐阜県内の先生方からいただきましたご意見・ご要望をもとに編集したものです。

「岐阜県版 ニュー・アプローチ」は基本文をくりかえし学習し、基礎・基本の内容を定着できる構成になっています。

昨年度から発行した「岐阜県版 絶対評価プリント」は、観点別評価に適したプリント教材で、単元ごとの評価に役立ちます。また、「思考力・判断力・表現力」に特化したテストとして取り組めます。

「岐阜県版 ニュー・ペンマンシップ」は、アルファベットの書き方だけでなくフォニックスの音声を収録しておりますので、文字と音の基礎を定着させるのに役立ちます。

「岐阜県版 ニュー・スタディノート」は、基本的な学習習慣の確立と基礎力の定着に役立つよう意図された、教科書対応の英語ノートです。

つきましては、岐阜県内で学ぶ中学生の英語学習の基礎づくりに、岐阜県内の先生方のご意見が反映された各教材をご採用いただきますよう、お願い申し上げます。

1	岐阜県版	ニュー・アプローチ	本誌のみ	定価640円（税込み）
			リスニング付き	定価720円（税込み）
2	岐阜県版	絶対評価プリント英語		定価530円（税込み）
3	岐阜県版	ニュー・ペンマンシップ		定価310円（税込み）
4	岐阜県版	ニュー・スタディノート		定価270円（税込み）